

ドイツの理科教育—その伝統と革新—

宮野純次・藤井浩樹 共著

目次概要

確固たる伝統を継承しつつ、教育スタンダードの新設とコンピテンシー概念の導入により、新しい学びを実現。理科教育の今日的問題を理解するために、堅実ドイツに学ぶ。

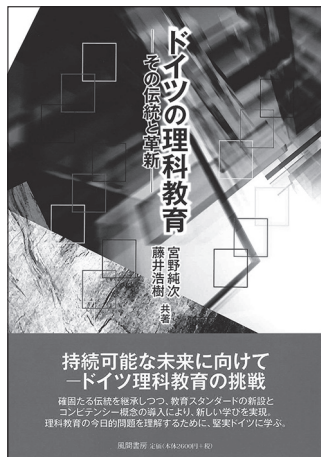
【著者紹介】

宮野純次 (みやの じゅんじ)

京都女子大学発達教育学部教授。博士 (教育学)。

藤井浩樹 (ふじい ひろき)

岡山大学大学院教育学研究科准教授。博士 (教育学)。



A5判・252頁・定価(本体2,600円+税)

ISBN 978-4-7599-2081-9

2015年3月刊・好評発売中

- 第1章 初等教育における理科の歴史
 - 第1節 郷土科における初等理科
 - 第2節 戦後ドイツにおける郷土科の変遷
- 第2章 初等教育における理科の教育課程
 - 第1節 事象教授の教育課程
 - 第2節 事象教授の学会版教育スタンダード
 - 第3節 事象教授の州教育スタンダード
- 第3章 初等教育における理科と環境教育
 - 第1節 学校への環境教育の導入
 - 第2節 学校における環境教育の展開
 - 第3節 環境教育における自然体験学習
- 第4章 初等教育における理科と就学前の自然学習
 - 第1節 ドイツの教育改革—7つの「行動領域」—
 - 第2節 基礎領域における自然に関する学習
 - 第3節 学びの連続性
- 第5章 中等教育における理科の教育課程
 - 第1節 前期中等教育における理科の教育課程
 - 第2節 後期中等教育における理科の教育課程
 - 第3節 総合理科の教育課程の開発
- 第6章 中等教育における理科の教科書と授業
 - 第1節 理科の教科書
 - 第2節 理科のプロジェクト授業
 - 第3節 理科の授業改革の動向
- 第7章 理科の大学入学試験
 - 第1節 大学入学に関する制度
 - 第2節 理科の大学入学試験
- 第8章 理科の教員養成
 - 第1節 教師教育に関する制度
 - 第2節 大学における教師の養成教育
 - 第3節 学校における教師の準備勤務
 - 第4節 理科教師の養成教育の課題
- 付録 前期中等教育における理科の教育スタンダード

好評の既刊

宮野純次 著

理科教育的視点からみたドイツの総合的学習

A5判 266頁 定価(本体11,500円+税)

理科教育的視点からドイツの総合的学習を考察し、郷土科が持つ理科教育的意義や中等理科との関連、並びに教育的機能を事象教授の導入に伴う改革を中心に解明。

ISBN 978-4-7599-1489-4 2005年2月刊

藤井浩樹 著

ドイツ化学教授学の成立に関する研究

A5判 270頁 定価(本体8,500円+税)

ドイツ化学教授学の原型を確立したアレントの化学教授論の全容を解明。学校で化学を教えることの意義、及びその目的、内容、方法のあり方を歴史的に考察する。

ISBN 978-4-7599-1781-9 2010年2月刊

風間書房

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34

電話 03-3291-5729 FAX 03-3291-5757

http://www.kazamashobo.co.jp E-mail pub@kazamashobo.co.jp